

岩事研広報

No. 1 9 5

編集・発行

岩手県公立小中学校

事務職員研究協議会

総務部

平成28年3月22日

県事務研セミナー

平成28年1月7日(木) 会場：プラザおでつて

名城大学大学院の木岡先生と盛岡大学の福島先生を講師にお迎えし、今年も県事務研セミナーが開催されました。当日は、会員外の方を含め126名の参加がありました。

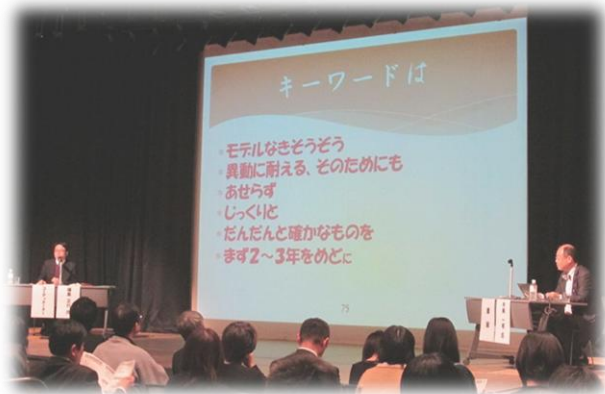
10月に開催された県事務研研究大会全体会で注目された「学校ガバナンス」に関わる講演ということで、参加者の皆さんの大変意欲的な様子が感じられました。



「チーム学校」の光と陰

—学校ガバナンスへの参画という幻想—

名城大学大学院 大学・学校づくり研究科 教授 木岡 一明 氏
盛岡大学文学部 児童教育学科 准教授 福島 正行 氏



参加者の声

演題が「光と陰」や「幻想」というちょっと刺激的な言葉が使われていたので、どのような講演になるのか興味を持って参加しました。

今日的な学校の課題から、いま置かれている事務職員の現状、「チーム学校」の提言で事務職員が担うこと、将来の事務職員像についてなど、わかりやすい言葉で流れるように説明していただきました。「学校ガバナンス」という耳慣れない言葉も、事務職員がマネジメント能力を発揮し経営に参画、アシストすることで、これからの学校をどう創るかという価値思考が共有され、ガバナンスの実現につながるということを、段階を踏んで考えると理解が進むというお話を聞き、少しではありますがイメージできたような気がしました。

日頃、日常の業務に追われて自分の職について振り返ることがなく過ごしている自分にとって、改めて学校事務職員の職務を考えるいい機会になりました。とても有意義な研修になりました。

全事研セミナー

平成28年2月10日(水) 会場：北とぴあ(東京都北区)

全国から1,000名を超える会員が集い、第22回全事研セミナーが3年ぶりに東京都で開催されました。岩手県からは60名の方が参加しました。

参加した会員の方から当日の講義についてレポートをいただきましたのでご紹介します。

講義 I

「学校ガバナンス改革の現状と事務職員に求められる役割」

—これからの学校マネジメントを展望する—

講師：千葉大学教育学部 教授 天笠 茂 氏

学校は、独自の意思を持つ組織体である。

おかれた地域環境の中で、めざす子どもの育成をするために学校をどう動かしていくのがよいか、その意思決定に参画し、実行システムを共有することがスクールガバナンスの構築である。だから、学校マネジメント改革とスクールガバナンス改革はとても親和性のある言葉と言える。

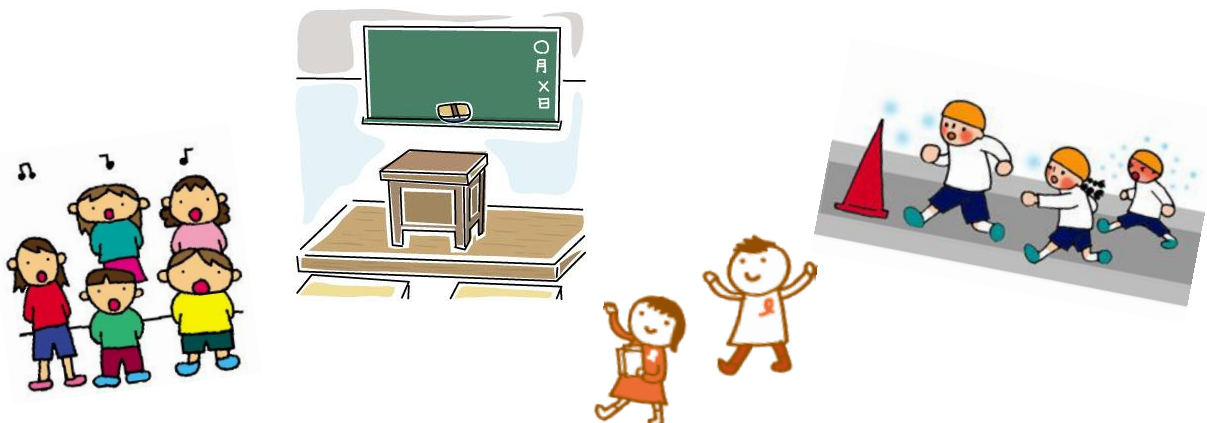
学校ガバナンス改革の現状

- ①教育統治（ガバナンスシステム）の構築・・・政府の教育改革、教育委員会改革もその一例
- ②住民（市民）による学校参画・・・・・・・・・・学校評議員、学校評価への参加
コミュニティスクールの導入（西日本で盛ん）

教育改革の動向と学校事務職員に求められる役割

- ①小中一貫教育の導入・・・学校種をまたぐ学校事務力（9年間を見通す視野）。接着剤かコーディネーターか。
- ②学習指導要領の改訂・・・教育課程を理解し経営資源（人・物・金）を必要に応じて投入していく担い手。
- ③チーム学校・・・・・・・・・・教職員と多様な専門スタッフによる組織力・教育力の向上。情報とネットワークの中継点に。
- ④学校と地域の関係作り・・・地域学校協働本部。学校と地域の思いをどうすり合わせ、住民の参画を支えるか。

学校ガバナンスについて、岩手の事務研で捉えていることが講義内容とそう遠くないとわかった。平成28年度には新たな指導要領が告示されるが、学校事務職員の立場からそれを読み込むことの必要性を強く感じた。



講義Ⅱ

「企業の取組から学ぶ学校ガバナンス改革」

～学校事務職員の目標・機能を考える～

講師：ベネッセ教育総合研究所 副所長 木村 治生 氏

企業における「ガバナンス」とは、もともとは組織を船に見立て、目的の達成、安全な航海をするための仕組みを作り上げることだった。

今、学校ガバナンスは十分か？ 今求められていることは、校内で「かかわるメンバーがどのような合意を形成し、そのシステムをどう維持するのか」の総体である。

ガバナンス確立に重要なことは

- ①組織全体の目標の設定
- ②役割ごとの機能と目標の設定、その実行
- ③実行を支える仕組みや決まり
- ④成果指標の設定と情報公開

役割ごとの機能と目標の設定の際、学校事務職員が考えるべきことは

- ①組織全体の目標（学校教育目標）は何か？
- ②目標を達成するために学校事務職員が拡大すべき機能と目標は何か？
- ③機能を広げるにはどうしたらいいか？

これを考えていくことで学校ガバナンスの確立に貢献することにつながる。

そして、ガバナンスの意味も統治から共治へと変わりつつあり、学校事務職員には子どもたちのために学校をよりよく変えていくドライバーとなり、人と人をつなぐハブになって欲しいと締めくくられました。

平成28年8月3日～5日に第49回全国公立小中学校事務研究大会（山形大会）が開催されます。東日本大震災後、初めての東北ブロックでの開催であり、これまでに全国の皆さんからいただいたご支援への感謝の大会にしたいと、大会実行委員長をはじめとする実行委員の皆さんも力が入っているようです。

大会テーマ 「自律的な学校経営と学校のガバナンス改革」のもと、岩手県でも第3分科会の発表を担当します。特別研究委員会の開催も9回を重ね、発表に向けて準備が進んでいます。

私たち岩手県事務研からも一人でも多くの方が参加し、大会を盛り上げてくださるようお願いしています。

行こう！山形へ！！

お知らせ

学校事務の手引第5次改定版

残部あります
購入ご希望の方は
直接第一法規(株)へ
お問い合わせください

連絡先

第一法規株式会社 営業局
仙台営業部 （担当：佐久間）
TEL 022-223-8146
FAX 022-223-8148

第2回支部代表者会

平成27年12月11日(金) 会場：プラザおでっ

各部の事業報告と今後の予定について協議、確認されました。

1 総務部

○50周年記念事業について

2 研修部

- (1) 第46回岩手県公立小中学校事務研究大会について
- (2) 次期研究大会計画について
- (3) 夏季研修講座について

3 研究部

○全国大会発表レポートについて

4 その他

- (1) 第48回全事研山形大会において
平成28年度の全事研山形大会参加について、県事務研として参加協力の依頼。
- (2) これからの事務研活動について検討委員会の答申について
将来に向けた県事務研活動の基本的な考え方・方向性について、「これからの事務研活動検討委員会」より、平成27年11月26日に出された答申について確認。



平成28年度 研究大会のお知らせ

『第48回 全国公立小中学校事務研究大会山形大会』

大会テーマ「自律的な学校経営と学校のガバナンス改革」

ジャンプ! 紅花咲く山形から

~ともに かかわり つなぐ そしてすすめ~



期 日：平成28年8月3日(水)～5日(金) 会場：山形市 山形国際交流プラザ

記念講演：工業デザイナー 奥山 清行 氏

フェラーリ、新幹線、家具からメガネまで広く活躍中
山形新幹線のエクステリアも手がけているそうです

『第47回 岩手県公立小中学校事務研究大会』

釜石支部、下閉伊支部、九戸支部の発表が予定されています

期 日：平成28年10月7日(金)

会 場：いわて県民情報交流センター アイーナ



1年間ありがとうございました。平成28年度もよろしくお願いいたします。